

2009年12月1日

2009年度第2四半期決算概況と 今後の事業展開について

Speciality Chemical Partner



荒川化学工業株式会社

目 次

1. 2009年度第2四半期決算概況と今期の予想
2. セグメント別情報
3. 設備投資 等
4. 株主還元策
5. 基盤事業と伸長事業について
6. 国際展開
7. 第2次中期5カ年経営計画

参考資料. 会社・事業概要、売上原価率・販管費率
キャッシュフロー、第2次中期5カ年経営計画 等

1. 2009年度第2四半期決算概況と通期の予想

1-1. 決算概要（連結） ※第2四半期は、4～9月の累計期間を表す

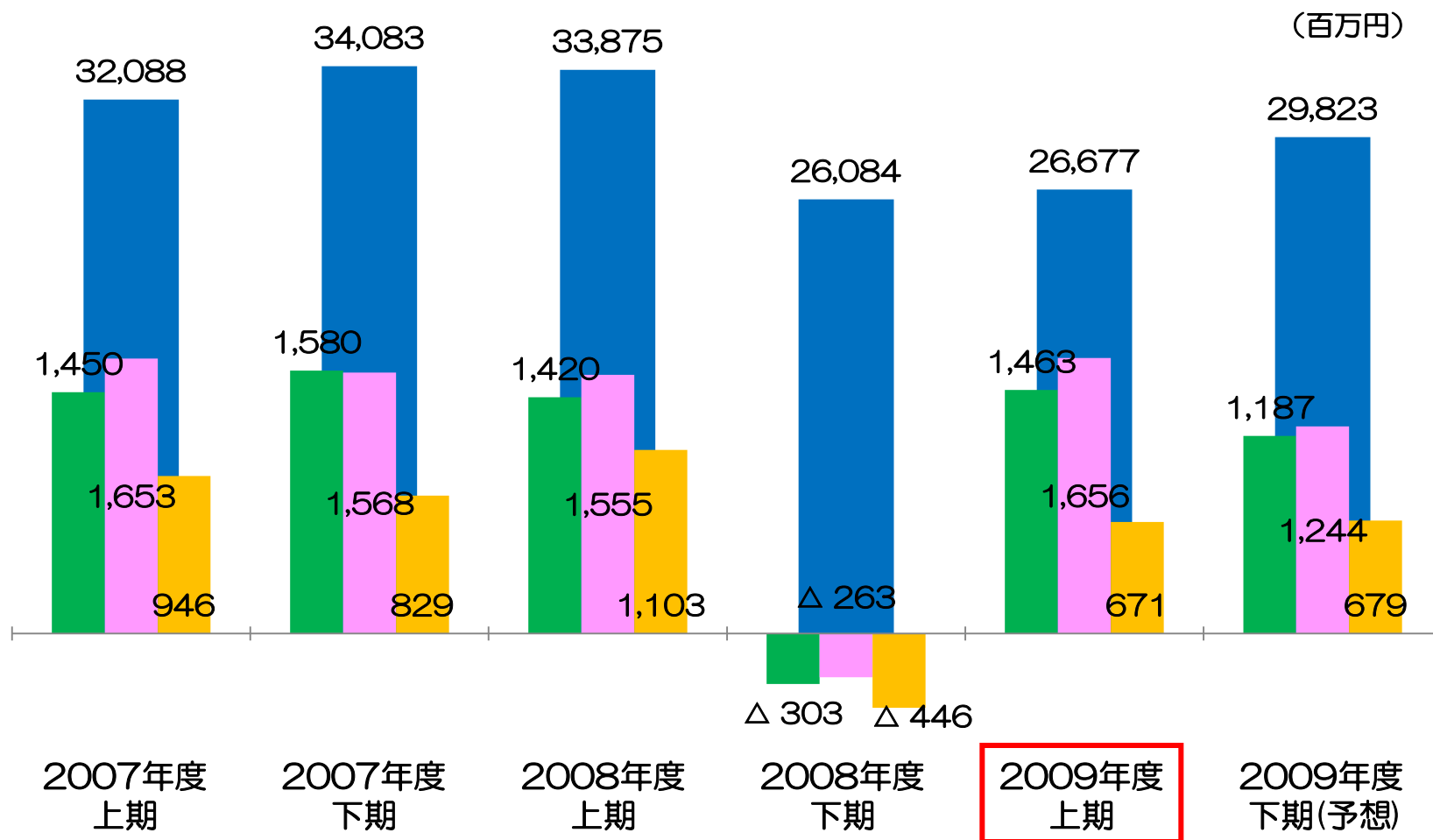
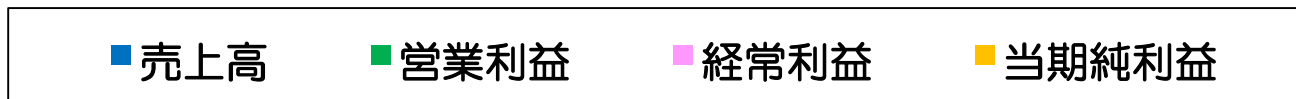
(単位：百万円)	2008/9	2009/9	増減額	増減%	2010/3 (予想)
売上高	33,875	26,677	△7,197	△21.2	56,500
営業利益	1,420	1,463	+42	+3.0	2,650
経常利益	1,555	1,656	+100	+6.5	2,900
当期純利益	1,103	671	△432	△39.2	1,350
自己資本	36,254	35,267	+1,118	+3.3	35,100

※自己資本の増減額、増減%は前期末対比

1-2. 経営指標等（連結）

	2008/9	2009/9	2009/3	2010/3 (予想)
自己資本比率 (%)	56.5	58.3	58.3	57.4
売上高営業利益率 (%)	4.2	5.5	1.9	4.7
売上高経常利益率 (%)	4.6	6.2	2.2	5.1
一株当たり当期純利益 (EPS) (円)	54.80	33.32	32.64	67.03
一株当たり純資産 (BPS) (円)	1,800.21	1,751.19	1,695.62	1,740.00

1-3. 業績推移（連結） 半期毎



1-4. 業績予想（連結）

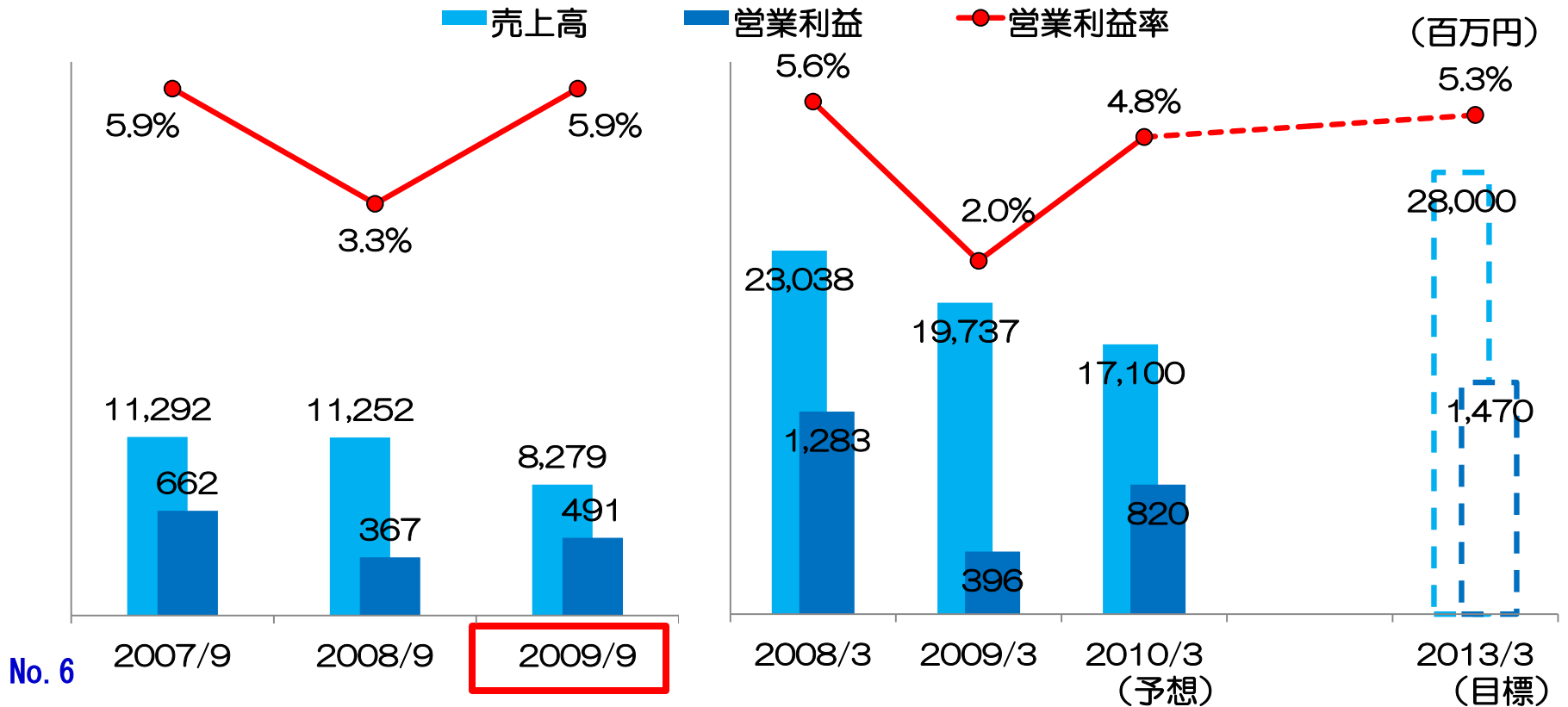
(単位：百万円)	2008/3	2009/3	2010/3 (予想)	増減額	増減%	2013/3 (目標)
売上高	66,171	59,959	56,500	△3,459	△5.8	85,000
営業利益	3,031	1,117	2,650	+1,533	+137.2	5,200
経常利益	3,222	1,291	2,900	+1,609	+124.5	5,500
当期純利益	1,775	657	1,350	+693	+105.4	3,300
R O E	5.0%	1.9%	3.9%	—	—	7%以上

2. セグメント別情報

2-1. 連結セグメント別概況（1）製紙用薬品事業

製紙用薬品事業（2009/9）

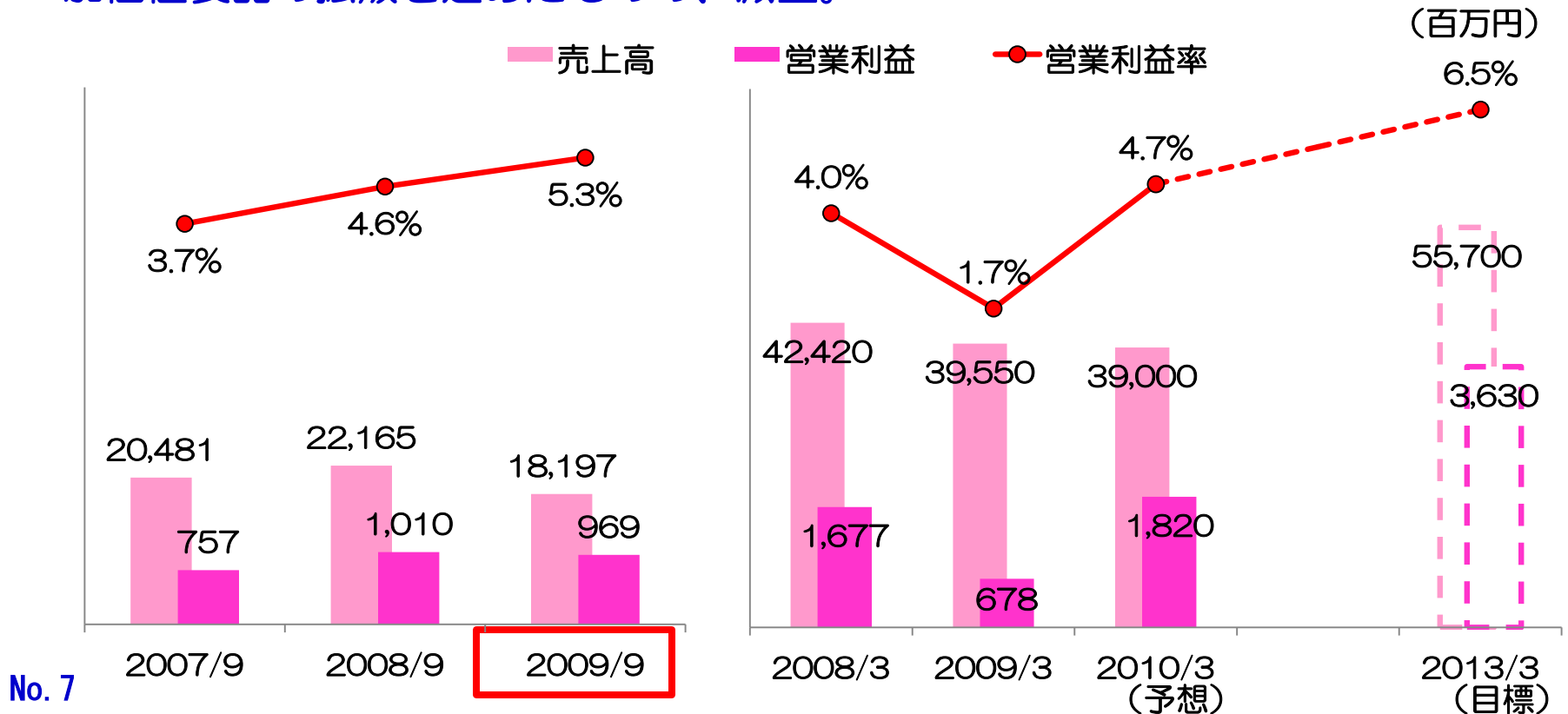
国内では、製紙会社での大規模な生産調整が続き、大幅な減収。
 海外でも、中国、台湾での需要減少により大幅な減収。
 利益面では、コスト削減などを進め増益。



2-2. 連結セグメント別概況（2）工業用樹脂事業

工業用樹脂事業（2009/9）

印刷インキ用樹脂、粘着・接着剤用樹脂および機能性ファインケミカル製品の売上が大幅に減少。海外子会社の売上也低調に推移。光硬化型樹脂は、用途拡大や電子工業業界の一部での需要回復により、売上が増加。セグメント全体では、国内外の需要の減少により、大幅な減収。利益面では、コスト削減や高付加価値製品の拡販を進めたものの、減益。



3. 設備投資等

設備投資等の実績と予想

(単位：百万円)	2008/9	2009/9	増減額	2008/3	2009/3	2010/3 (予想)
設備投資額 (完工ベース)	670	590	△80	2,991	1,349	3,250
減価償却費	1,042	1,028	△14	2,091	2,183	2,250
研究開発費	1,342	1,308	△33	2,495	2,637	3,000

2010/3 主な設備投資計画

- ・ 高圧化学ファイン設備 774百万円
- ・ 大阪工場製品倉庫（物流合理化等） 319百万円

2010年度以降の設備投資計画

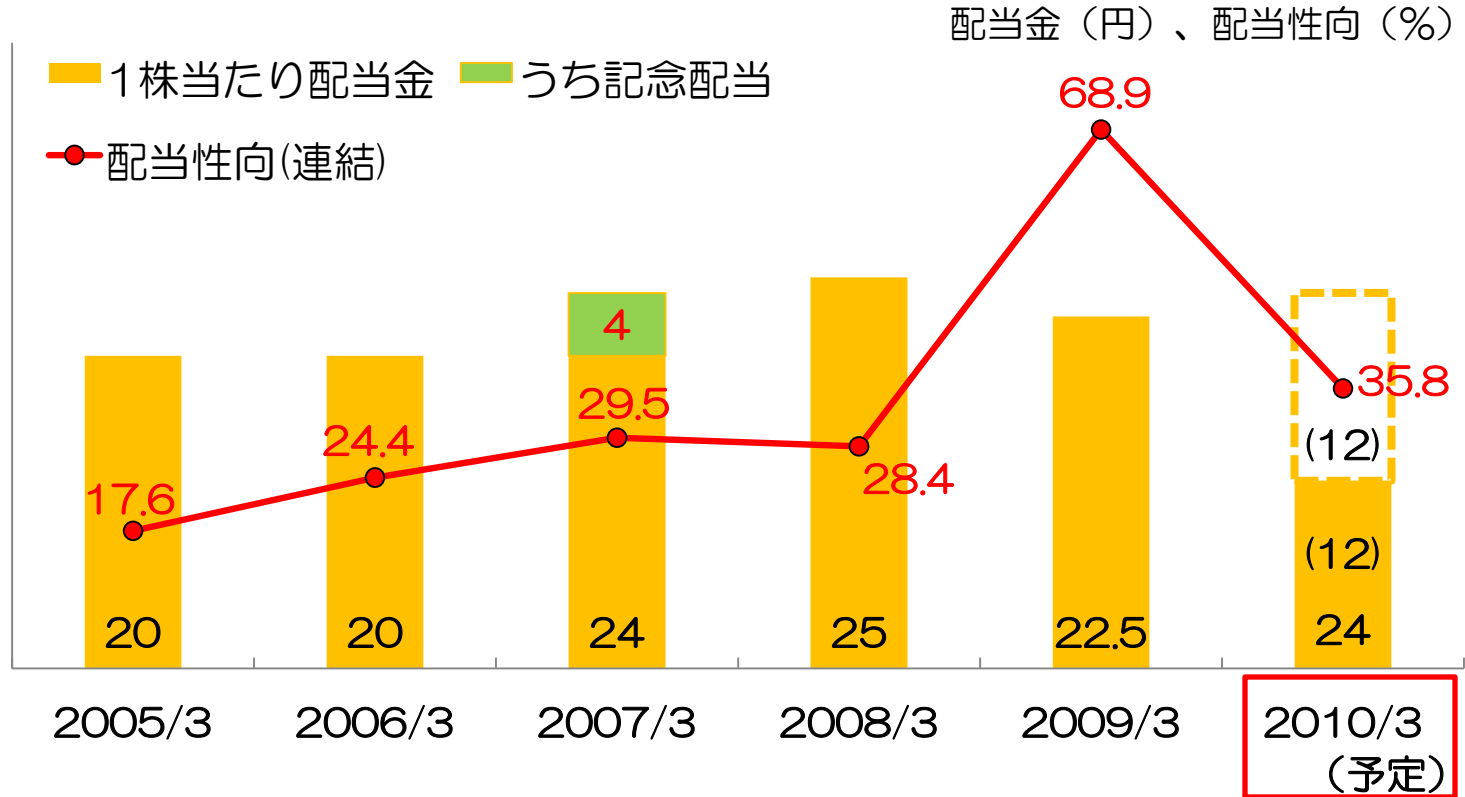
- ・ 光硬化型樹脂、有機・無機ハイブリッド樹脂生産設備 約25億円（2010年度）
- ・ 超淡色ロジン生産設備 約30億円（2011年度）

2008/4～2013/3 第2次中計期間での投資予定額合計

- ・ 投資金額 約250億円
- ・ 減価償却費 約180億円
- ・ 研究開発費 約150億円

4. 株主還元策

安定的な配当を維持しつつ、積極的な株主還元策に取り組む。
 連結配当性向は、25%を目処にし、将来的には30%以上を目指す。

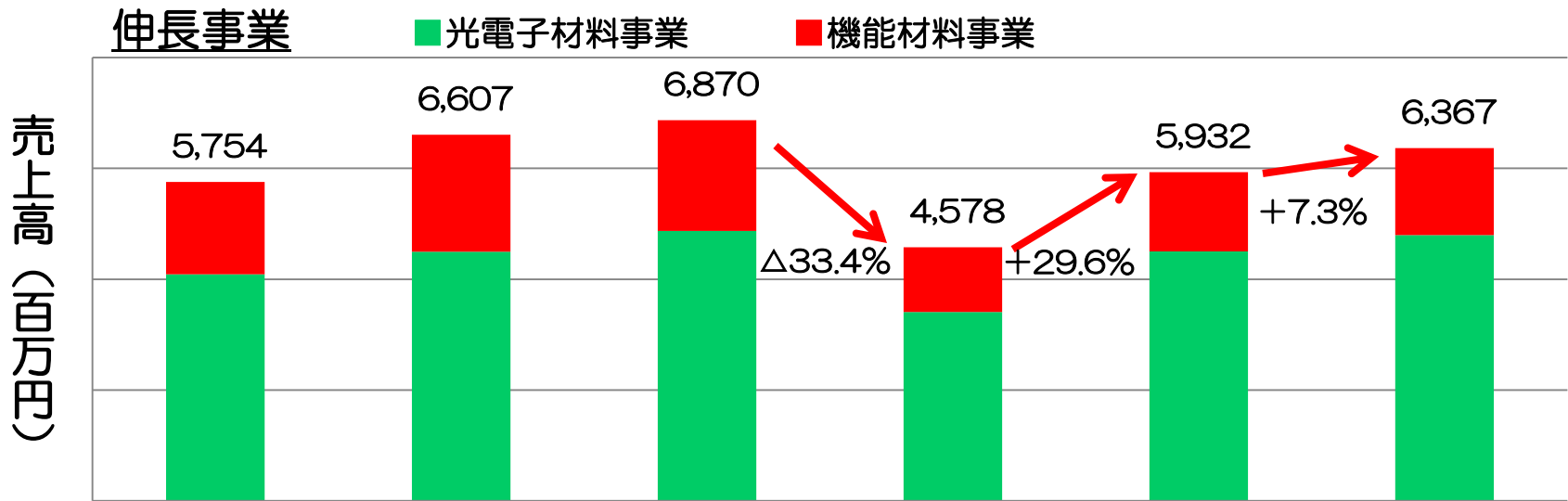
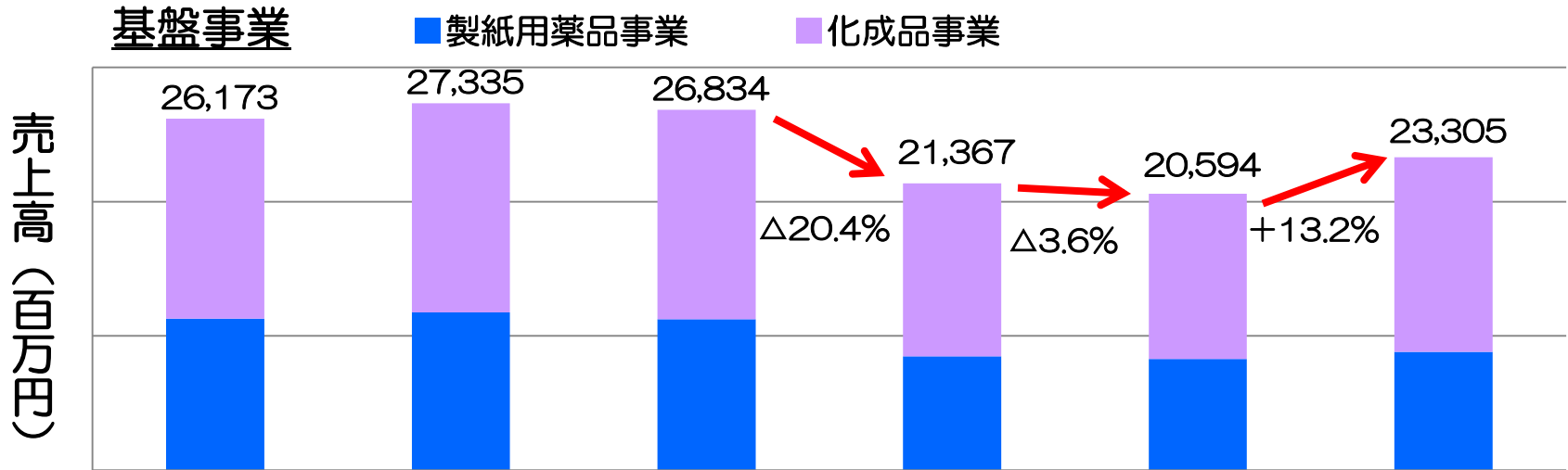


2008/3配当	中間配当	12.0円	+	期末配当	13.0円	計25.0円
2009/3配当	中間配当	12.5円	+	期末配当	10.0円	計22.5円
2010/3配当予定	中間配当	12.0円	+	期末配当	12.0円	計24.0円
(期初予定)	(中間配当	11.5円	+	期末配当	11.5円)	(計23.0円)

5. 基盤事業と伸長事業について

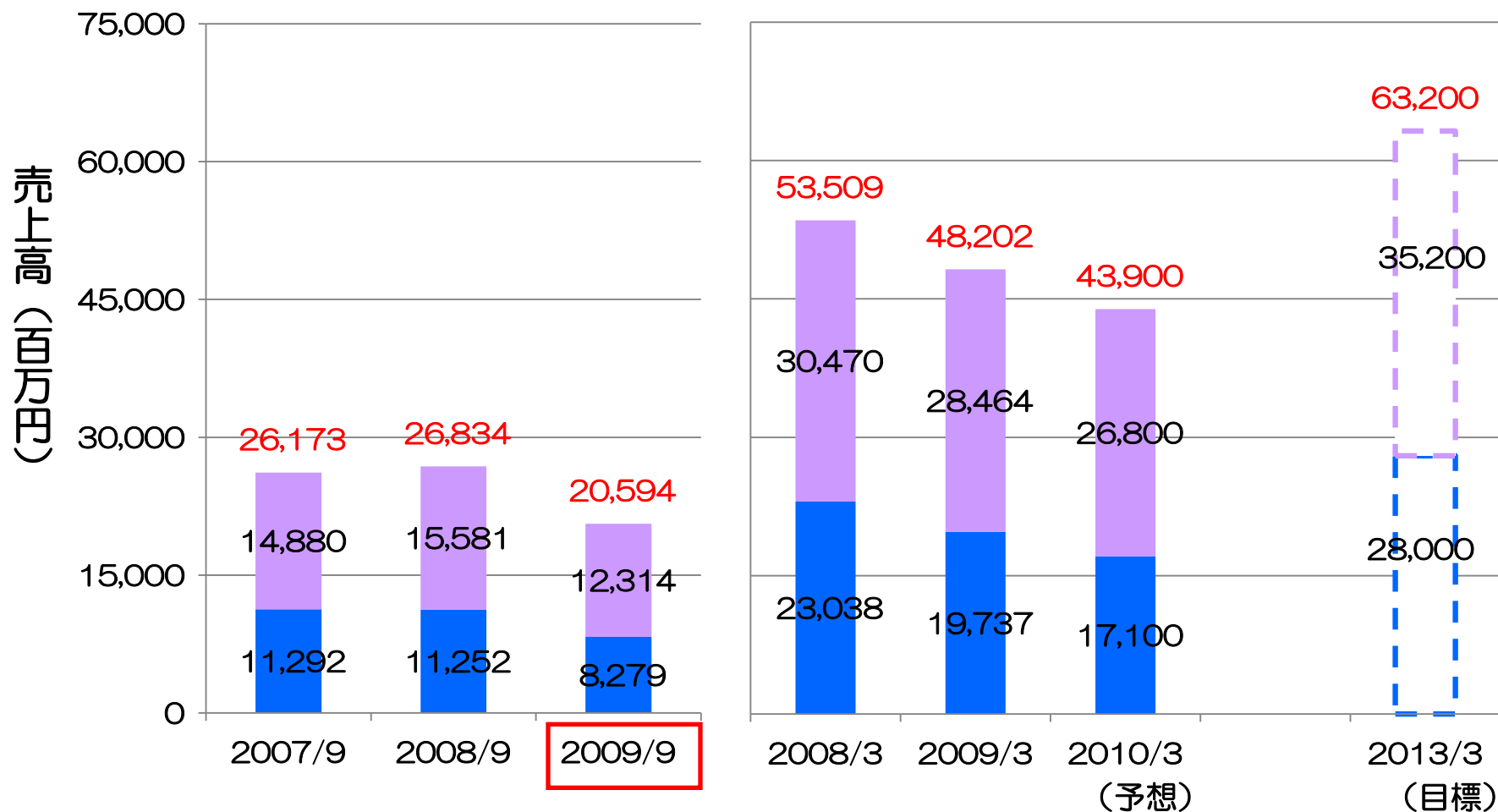
セグメント別	製紙用薬品事業	工業用樹脂事業		その他事業		
商品分類別	サイス剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 その他	印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂 合成ゴム重合用乳化剤 超淡色ロジン その他	電子材料用配合製品 光硬化型樹脂 有機・無機ハイブリッド樹脂	機能性フラインケミカル製品 クリームはんだ関連製品 精密部品洗浄剤	精密部品洗浄機械 不動産仲介等	
事業別	製紙用薬品事業	化成品事業		光電子材料事業	機能材料事業	その他事業
基盤・伸長別	基盤事業		伸長事業		その他事業	

5-1. 事業別実績推移 (連結) 半期毎



5-2. 基盤事業（製紙用薬品事業+化成品事業）

■ 製紙用薬品事業 ■ 化成品事業



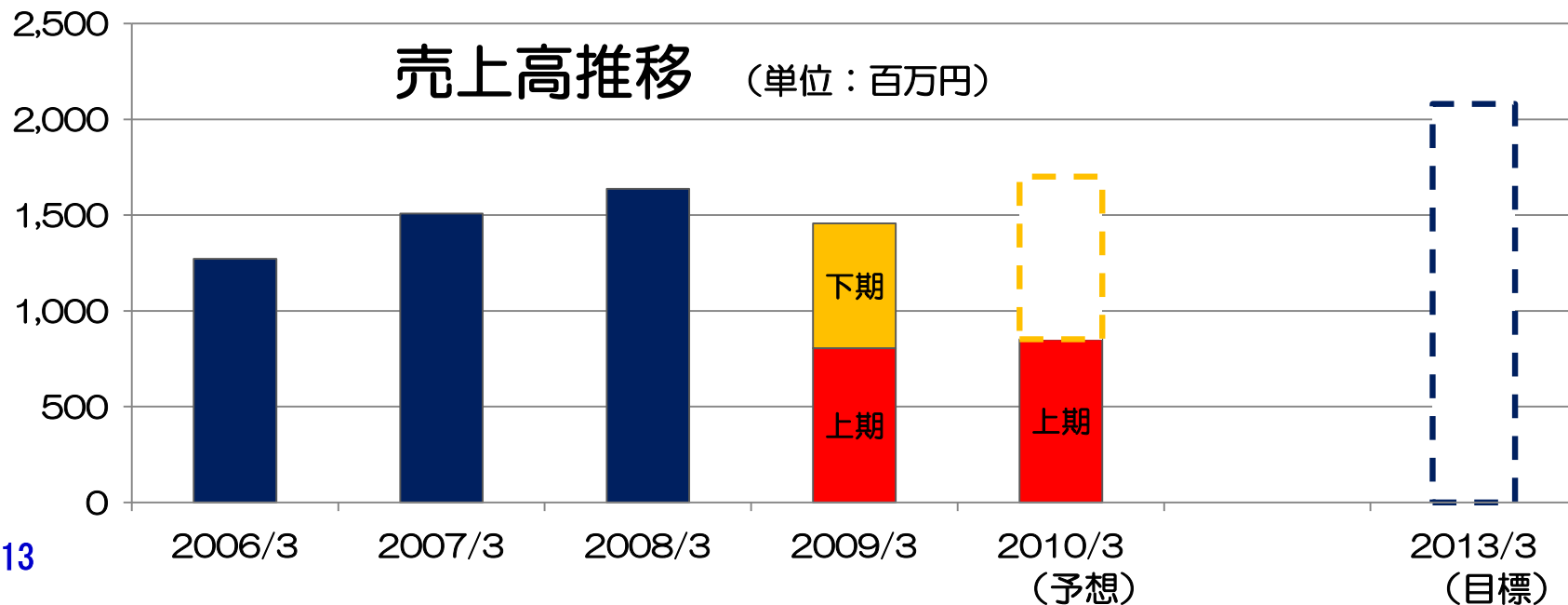
5-3. 超淡色ロジン (パインクリスタル)



[用途] 鉛フリーはんだ用フラックス
 高機能粘着・接着剤
 医療用ハップ剤
 プラスチック用結晶核剤

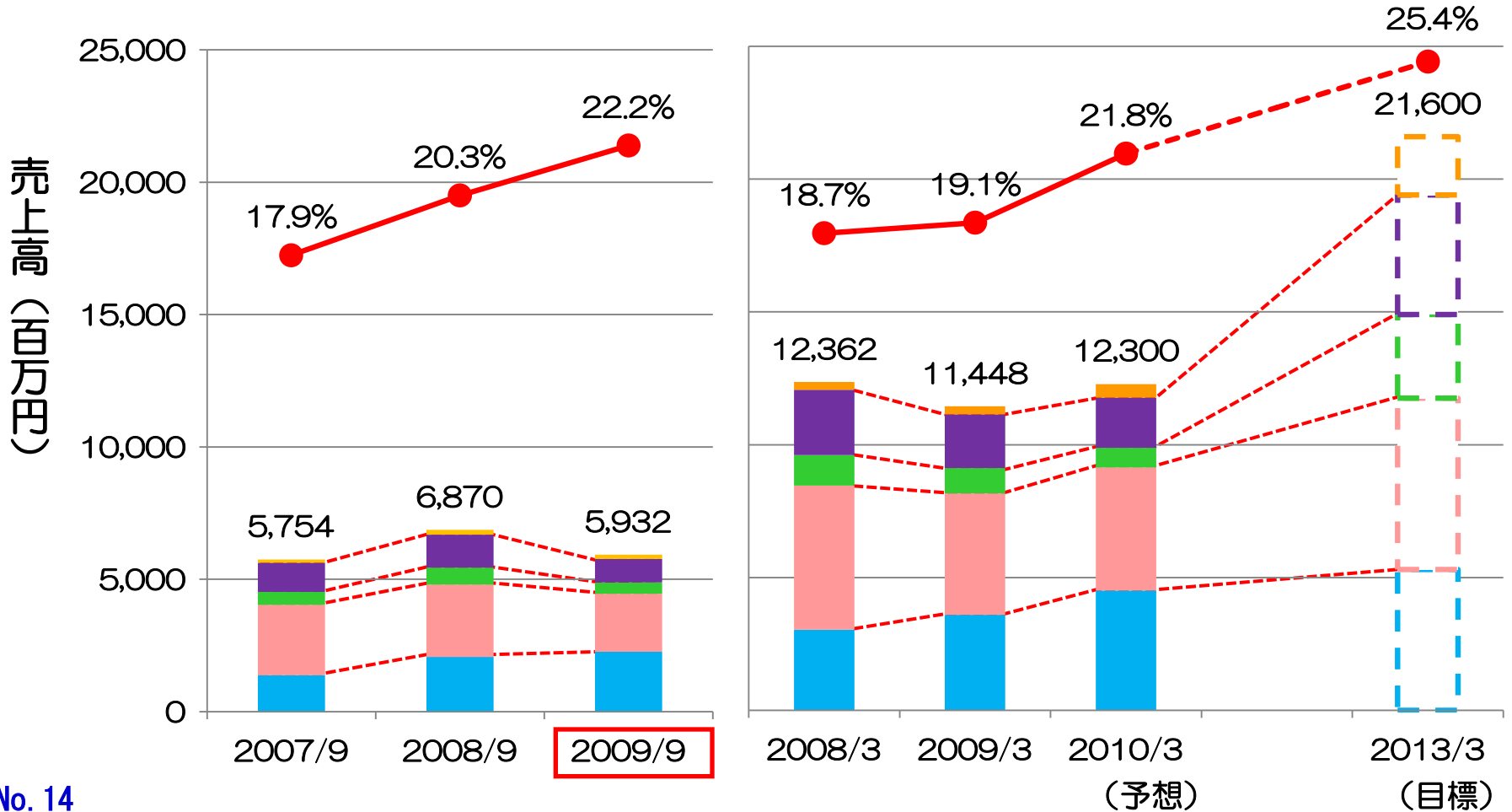
[特徴] 不純物が少ない、熱に対して安定

小名浜工場に生産設備新設、2011年6月完工予定
 投資金額:約30億円 生産能力:約2,500トン/年



5-4. 伸長事業(光電子材料事業+機能材料事業)

- 光硬化型樹脂
- 電子材料用配合製品(ペルノックス)
- 精密部品洗浄剤・洗浄機械
- 機能性ファインケミカル製品(高圧化学)
- その他
- 伸長事業占有率 (対連結売上高)



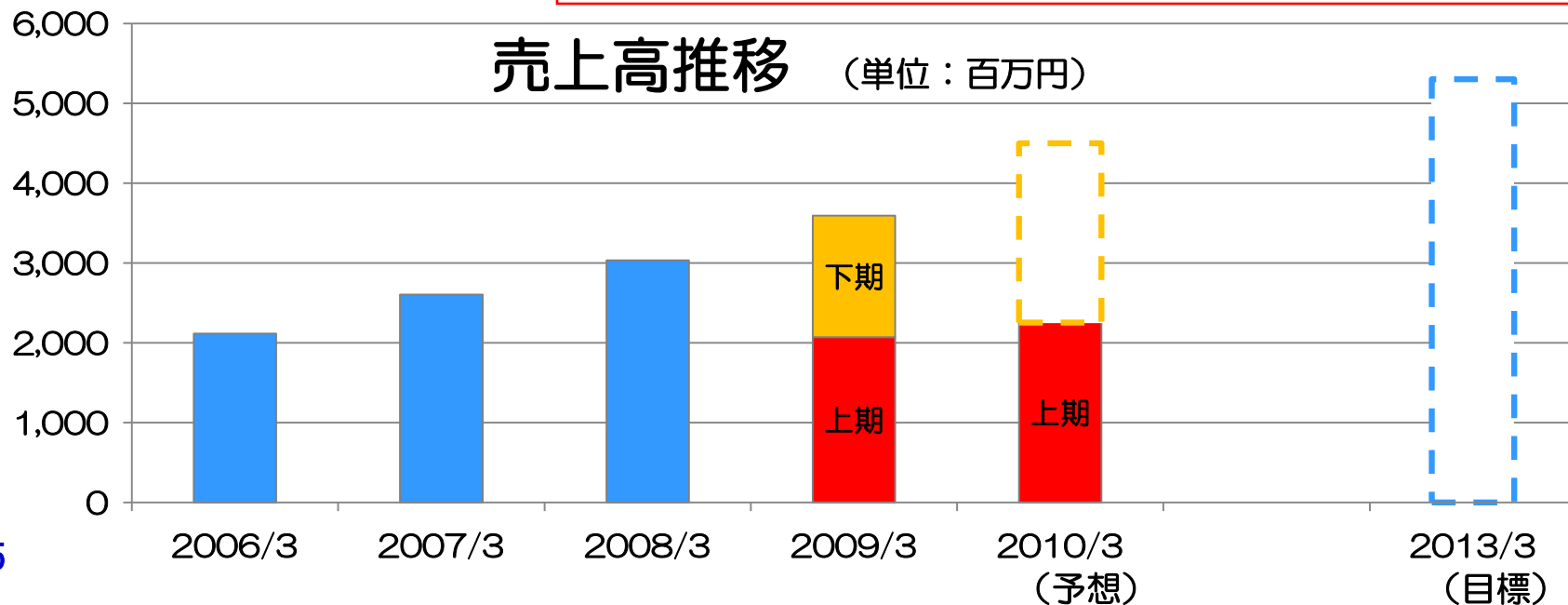
5-5. 光硬化型樹脂 (ビームセット)



〔用途〕 機能性コーティング 環境・省エネ対応
 携帯電話 印刷インキ・塗料
 ディスプレー クリヤワニス
 I C生産工程用 水系化

〔特徴〕 紫外線、電子線で硬化 高機能性
 速硬化性=高生産性=省エネ

大阪工場に生産設備新設、2011年2月完工予定
 投資金額:約25億円 生産能力:約4,000トン/年

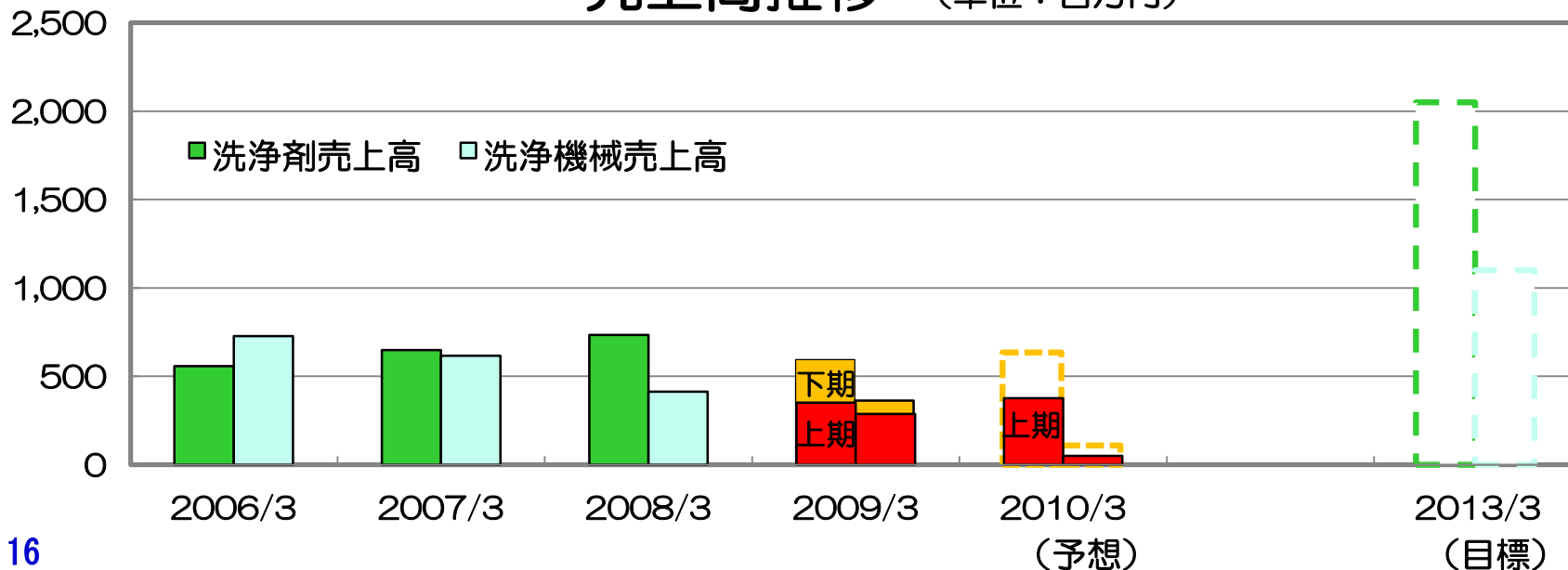


5-6. 精密部品洗浄システム（パインアルファ、洗浄機械）



[洗浄対象] 実装基板 BGA
 ハイブリッドIC
 HDDケース
 WL-CSP
 通信機器部品
 シリコンウェハ 等

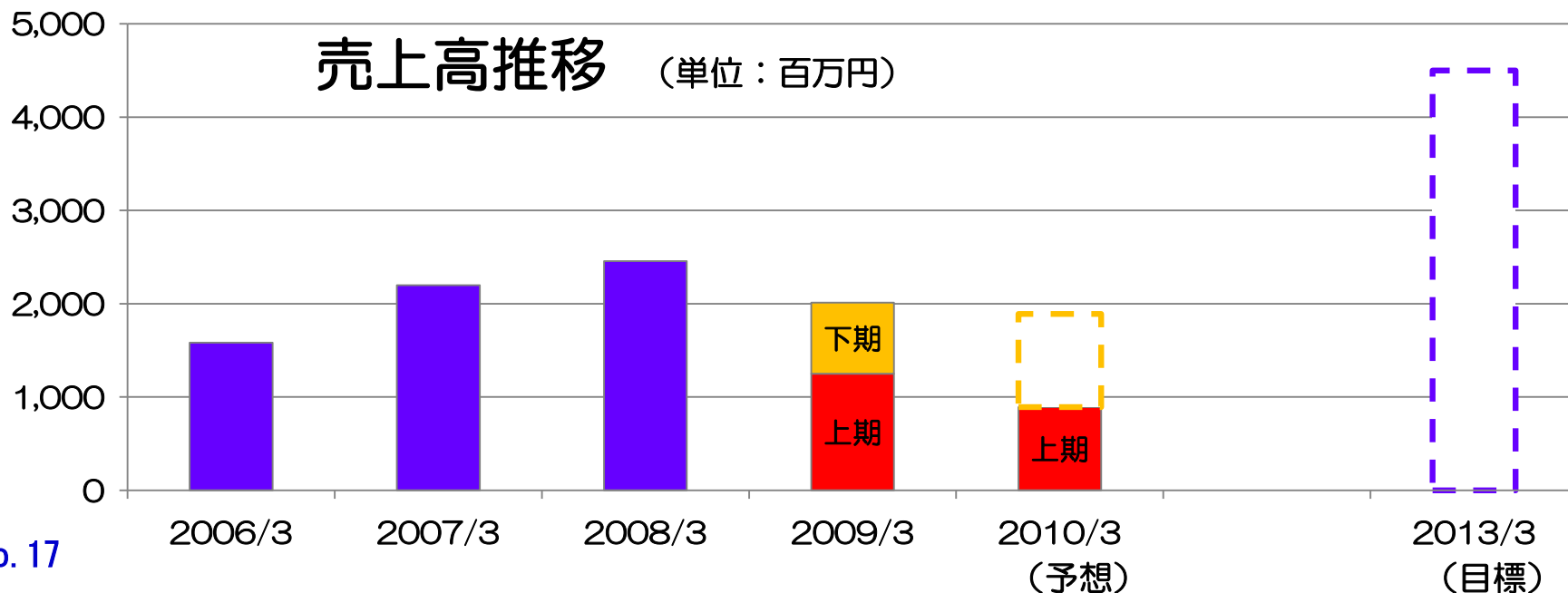
売上高推移 (単位：百万円)



5-7. 機能性ファインケミカル製品

- ・ 高圧化学工業のクリーン環境対応設備にて機能性ファインケミカル製品を製造
- ・ 高度な品質管理体制を強みに売上が伸長

ファイン設備を増設、年内に完工予定
投資金額:約8億円
生産能力:180ト/年(約3割増)



5-8. 電子材料用配合製品（ペルノックス）

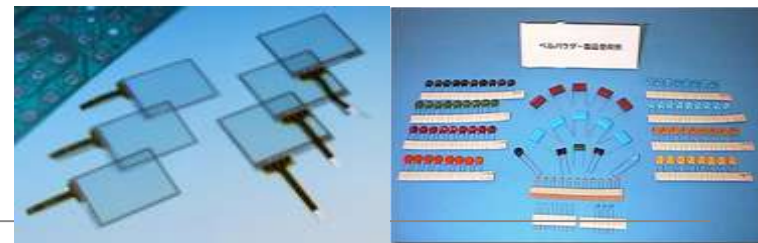
- ・ 2003年10月にグループ化
- ・ エポキシ樹脂、シリコン樹脂などの樹脂とフィラーの配合・分散技術に強みを持つ
- ・ ディスプレイ関連の導電性材料が伸長

導電性材料

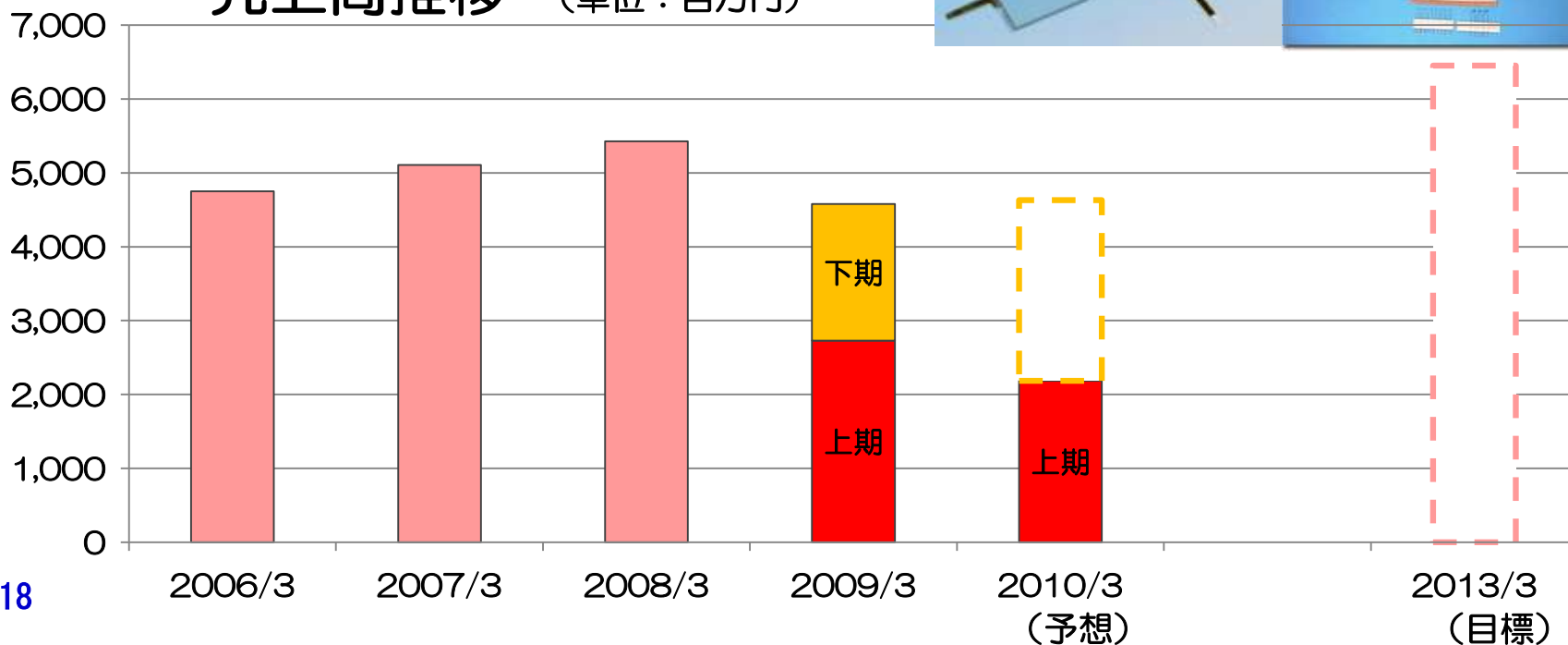
（タッチパネル電極用導電性ペースト、ディスプレイの帯電防止コーティング剤等）

粉体エポキシ樹脂製品

（コンデンサーコーティング用樹脂等）



売上高推移 (単位：百万円)



6. 国際展開

6-1. 荒川化学グループの国際展開

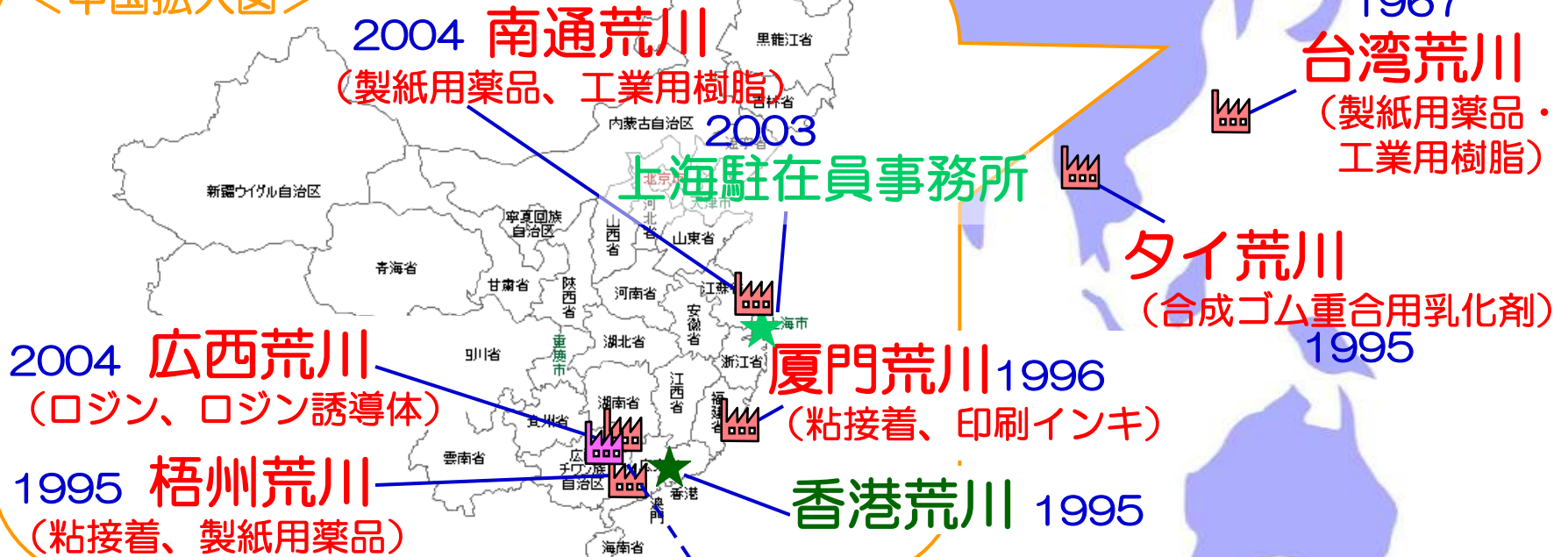
※ マークは製造拠点

※ 図中の数字は設立年

1982
★ 米国荒川 ★

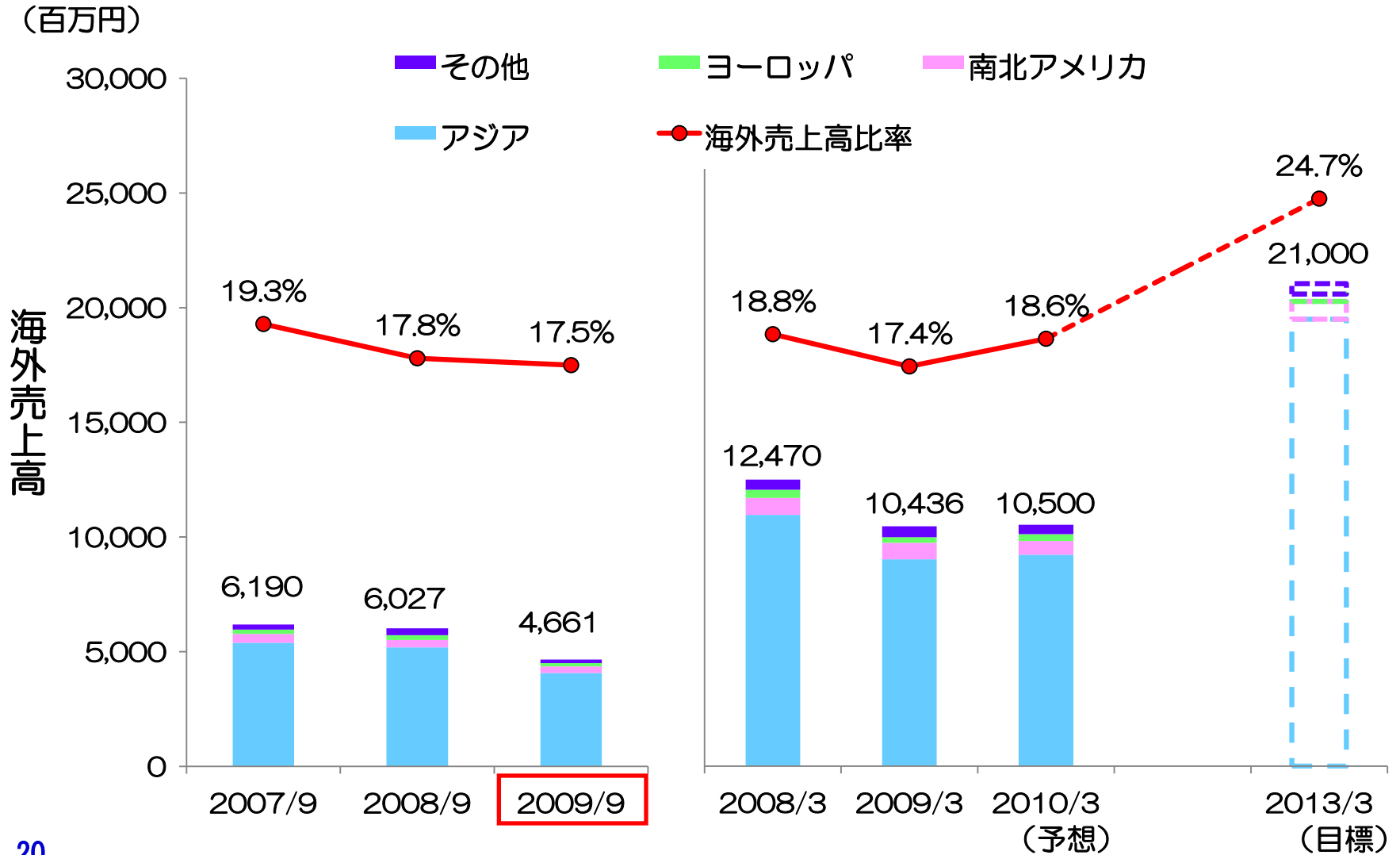
1998
欧州荒川★

<中国拡大図>



6-2. 海外売上高

海外売上高・比率推移



PINE DASH 1000

基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

1) 基盤事業のさらなる拡大

2) 伸長事業の拡大

3) 新規事業・新技術の創生

4) 経営・事業基盤の整備と強化

～2009年度の取り組み～

1) 基盤事業のさらなる拡大

* 広西荒川化学工業有限公司の完全子会社化

基盤事業のさらなる拡大、中国における事業展開の体制を整備

* 荒川ケミカル（タイランド）社の連結子会社化

基盤事業のさらなる拡大、タイにおける事業展開の体制を整備

* 超淡色ロジン生産設備の新設

小名浜工場に新設、需要の増加に対応、2011年6月に完工予定

2) 伸長事業の拡大

* シリカハイブリッドポリイミドフィルム「ポミラン」の工業化技術確立

* 高圧化学工業にファイン設備を増設

電子材料中間素材の受託製造拡大に対応、2009年12月に完工予定

* 光硬化型樹脂、有機・無機ハイブリッド樹脂生産設備の新設

大阪工場に新設、需要増加・高度な品質管理に対応、2011年2月に完工予定

～2009年度の取り組み～

3) 新規事業・新技術の創生

* 開発マネジメントシステムの構築

将来の柱となるべき事業の確立を目指し、4月から運用開始

4) 経営・事業基盤の整備と強化

* 製紙薬品事業部と化成品事業部に国際部を新設 海外関係会社を統轄する国際統轄部を新設

グローバル化推進による事業拡大の効率的な実行体制に組織改定（4月から）

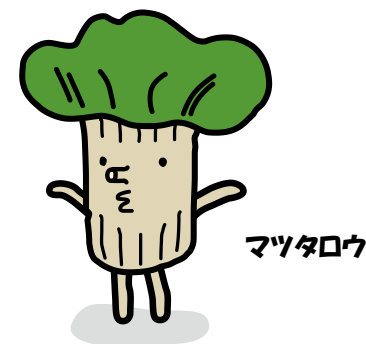
* 立体倉庫の新設、製品輸送の効率化

大阪工場内に新設、外部倉庫の集約、
NEDOの合理化事業者支援事業に採択、2010年1月に完工予定

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



以下、参考資料

目次

- 1 . 会社概要
- 2 . 経営方針
- 3 . 事業の概要
- 4 . 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ
- 5 . 事業セグメントとグループ体制
- 6 . 業績推移（連結・個別）
- 7 . 売上原価、販管費の推移（連結）
- 8 . キャッシュフロー推移（連結）
- 9 . 第2次中期5カ年経営計画の概要（基本方針、連結業績目標、キャッチフレーズ）
10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略（セグメント別業績目標、基盤・伸長事業、海外展開等）
11. 新製品紹介

ポリテンション／製紙薬品事業	}	基盤事業
UR-ASシリーズ／化成品事業		
ポミラン／光電子材料事業	}	伸長事業
パインアルファST-400／機能材料事業		
12. 環境配慮型製品の売上高推移

1. 会社概要

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 末村 長弘
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	31億2,830万円
決算期	3月
上場取引所	東証・大証一部
証券コード	4968

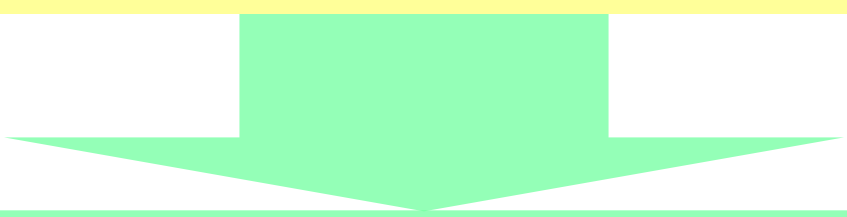
2. 経営方針

経営理念

個性を伸ばし技術とサービスでみんなの夢を実現する

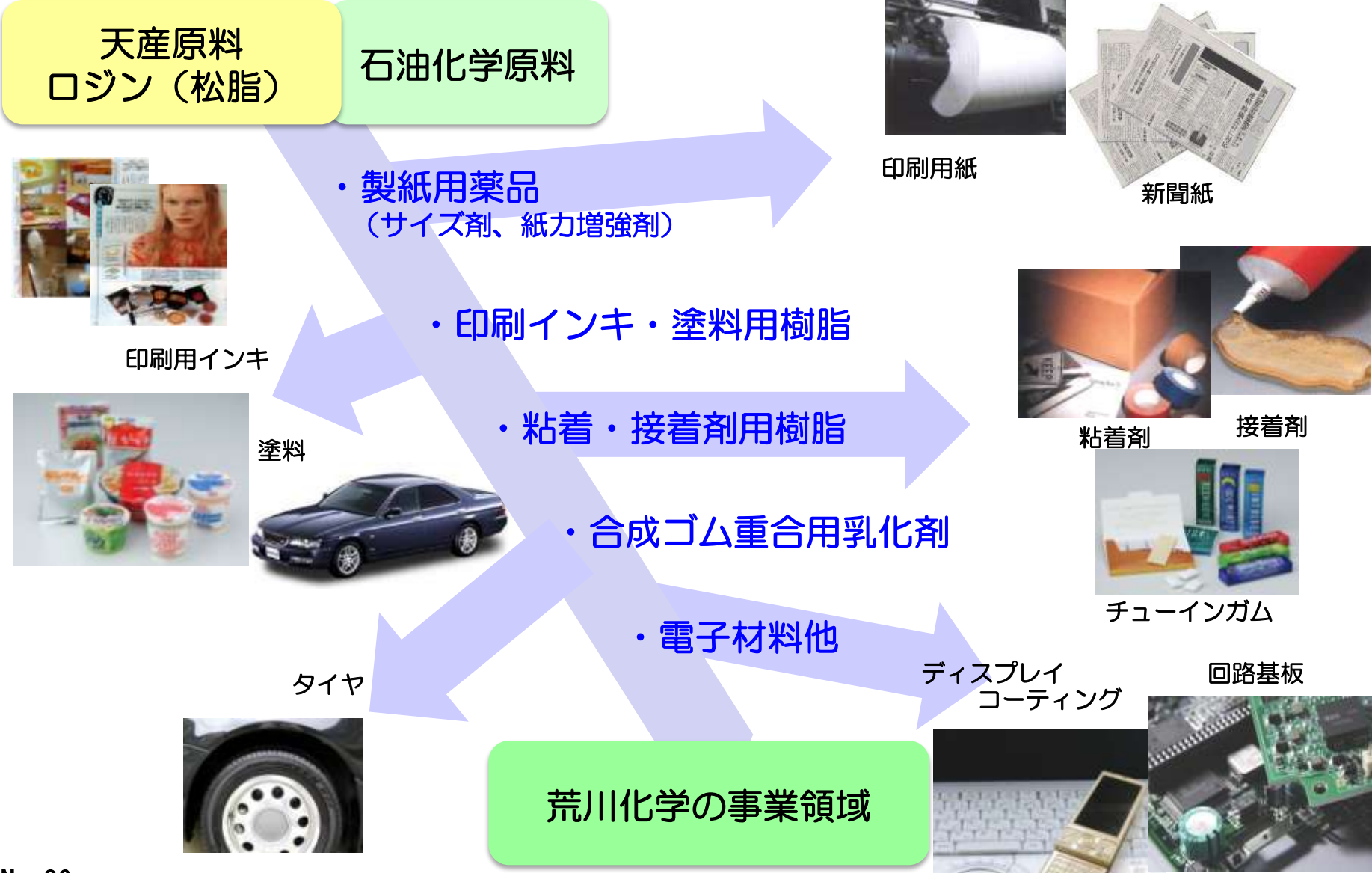
ビジョン

ロジンに代表される地球に優しい素材を通して
社会に貢献するスペシャリティー・ケミカル・パートナー



株主、取引先、社員および社会に貢献して
企業価値を高めていく

3. 事業の概要



4. 生松脂採取からロジン製品完成までの流れ

①生松脂採取



生松脂採取

* 松の木に溝をつけ、滲み出してきた松脂を収集する



生松脂入荷



精製



ロジン取出し



ロジン



②生松脂の受入～ロジンの精製 (広西荒川化学工業有限公司)



事務所棟外観



ロジン精製プラント外観

③荒川化学グループへ出荷

- ・ 製紙用薬品
- ・ 印刷インキ、塗料用樹脂
- ・ 合成ゴム重合用乳化剤
- ・ その他
(ガムベース、電子材料関連分野用の樹脂など)

* ロジンは、様々な用途の製品の製造にかかせない材料

5. 事業セグメントとグループ体制

工業用樹脂事業

印刷インキ用樹脂 塗料用樹脂 粘着・接着剤用樹脂
 合成ゴム重合用乳化剤 電子材料用配合製品
 光硬化型樹脂 有機・無機ハイブリッド樹脂
 機能性ファインケミカル製品 精密部品洗浄剤
 クリームはんだ関連製品 等

○連結子会社

- [日本] 高圧化学工業
 ペルノックス
- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 南通荒川化学
 梧州荒川化学
 広西荒川化学
 厦門荒川化学
 広西梧州荒川化学
- [米国] 米国荒川化学
- [タイ] タイ荒川化学

○持分法適用関係会社

- [欧州] 欧州荒川

製紙用薬品事業

サイズ剤 紙力増強剤 塗工紙用薬品 等

○連結子会社

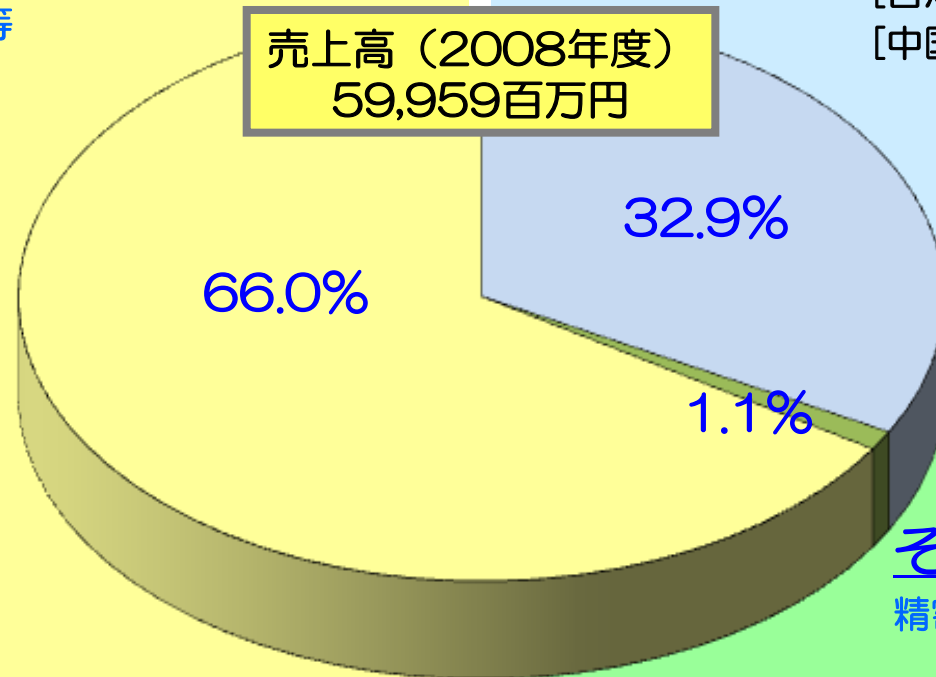
- [台湾] 台湾荒川化学
- [中国] 南通荒川化学
 梧州荒川化学

その他事業

精密部品洗浄機 等

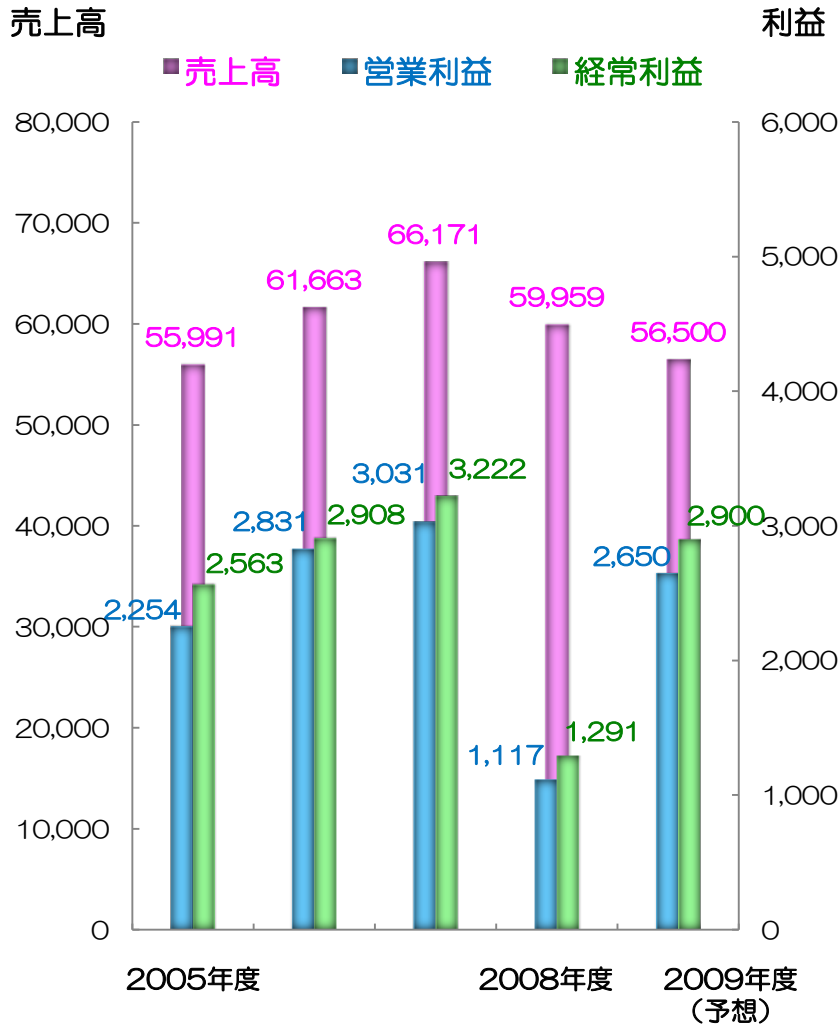
○連結子会社

- [日本] カクタマサービス

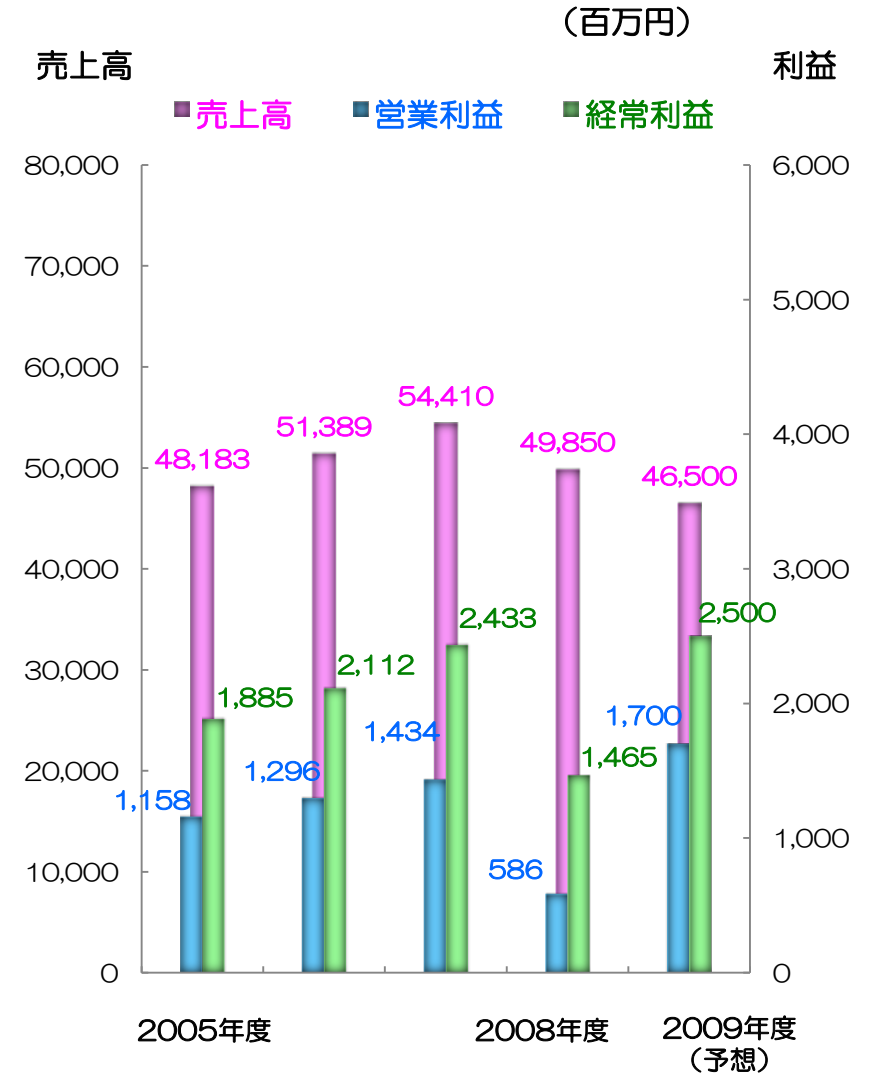


6. 業績推移 (連結・個別)

【連結】

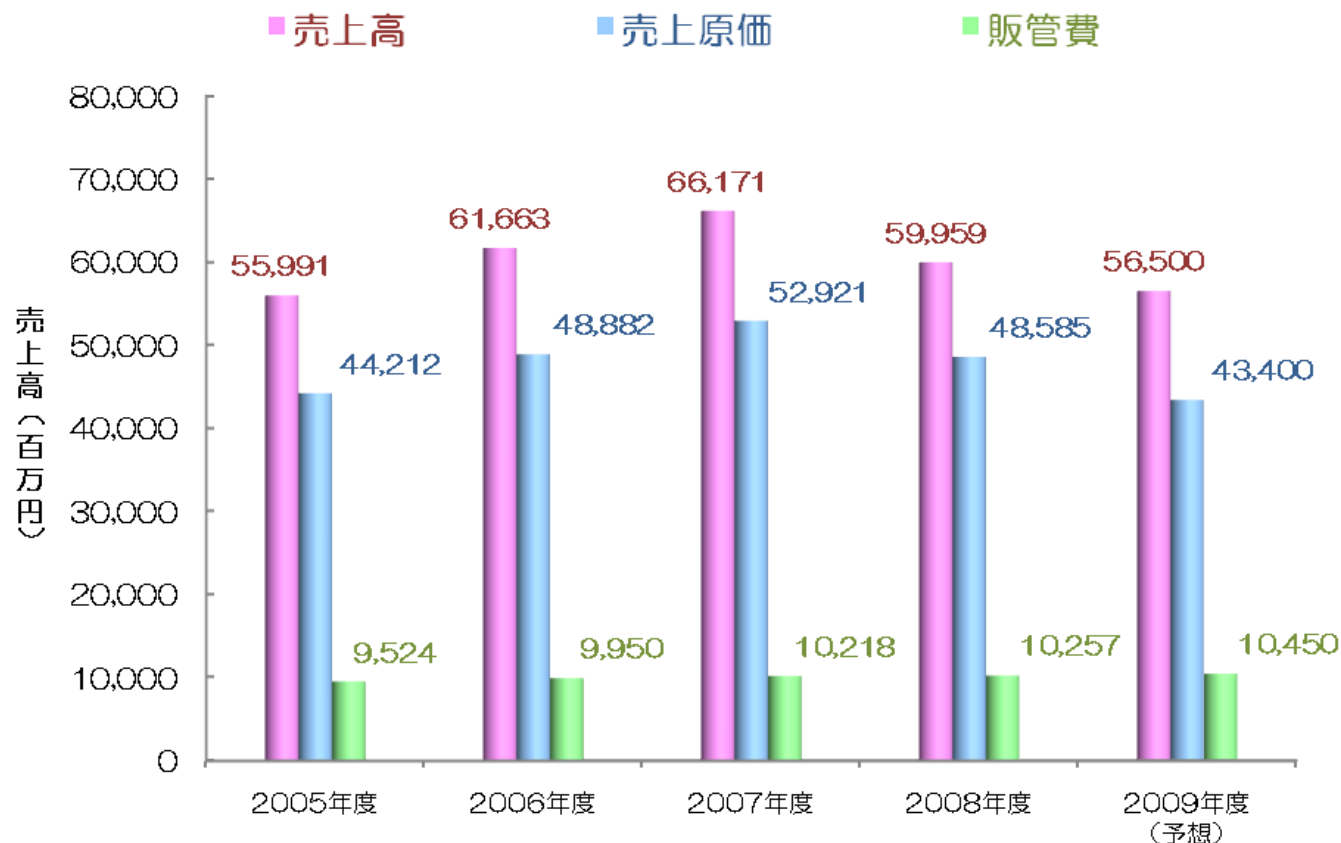


【個別】



7. 売上原価、販管費の推移

【連結】

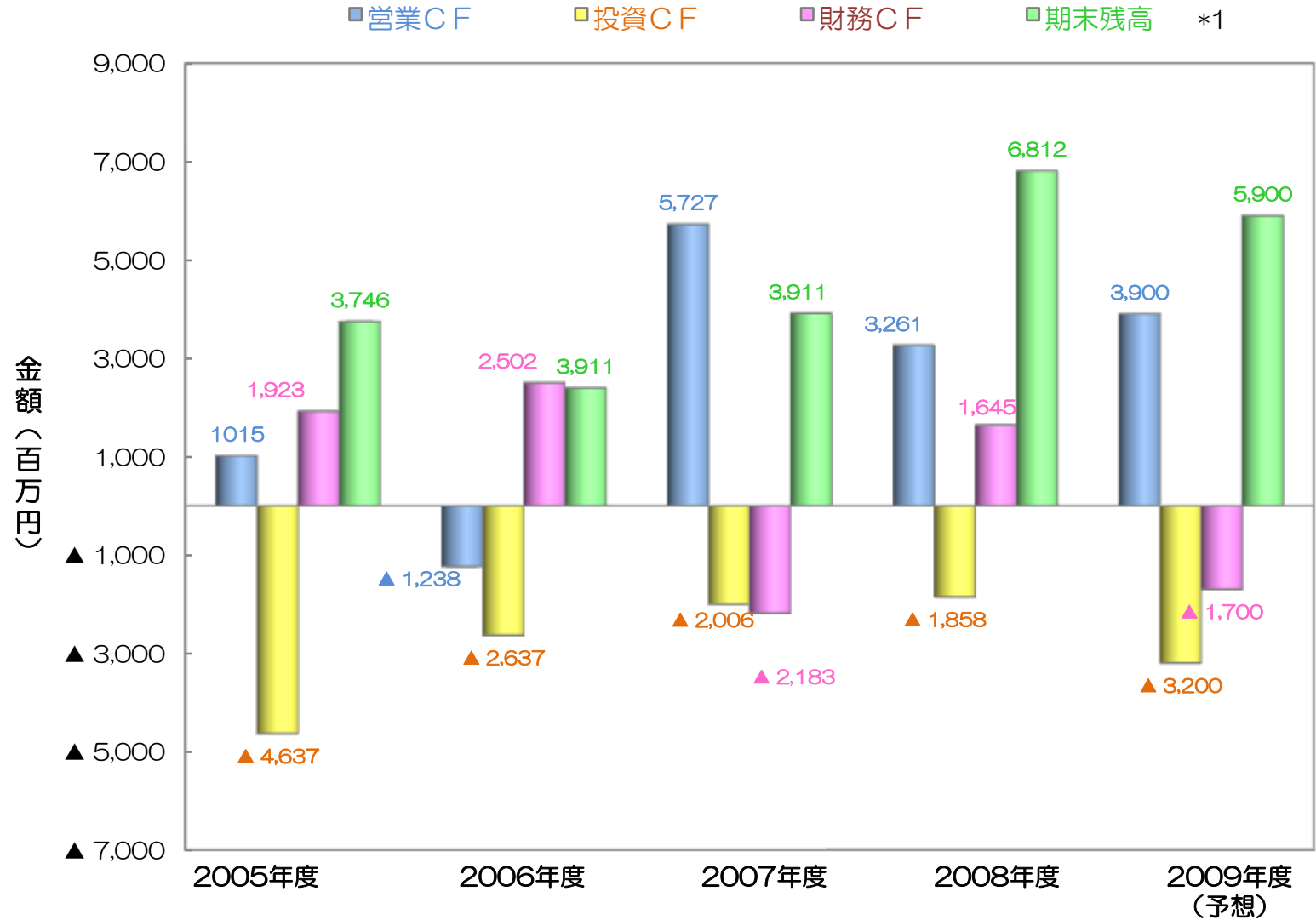


	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度 (予想)
原価率 (%)	79.0	79.3	80.0	81.0	76.8
販管費率 (%)	17.0	16.1	15.4	17.1	18.5

8. キャッシュフロー推移

【連結】

* 1 : 現金及び現金同等物の期末残高



9. 第2次中期5カ年経営計画の概要[2008~2012年度]

9-1. 基本方針

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

- | | |
|------------------|----------------------------------|
| 1) 基盤事業のさらなる拡大 | 徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択 |
| 2) 伸長事業の拡大 | 高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ |
| 3) 新規事業・新技術の創生 | 基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保 |
| 4) 経営・事業基盤の整備と強化 | 事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営へ |

9-2. 業績目標

	2007年度	2012年度 (目標)	5カ年 伸率%
売上高	66,171	85,000	+28.5
営業利益	3,031	5,200	+71.6
経常利益	3,222	5,500	+70.7
当期純利益	1,775	3,300	+85.9
ROE	5.0%	≥7%	
(EBITDA)	5,122	9,600	+87.4

9-3. キャッチフレーズ

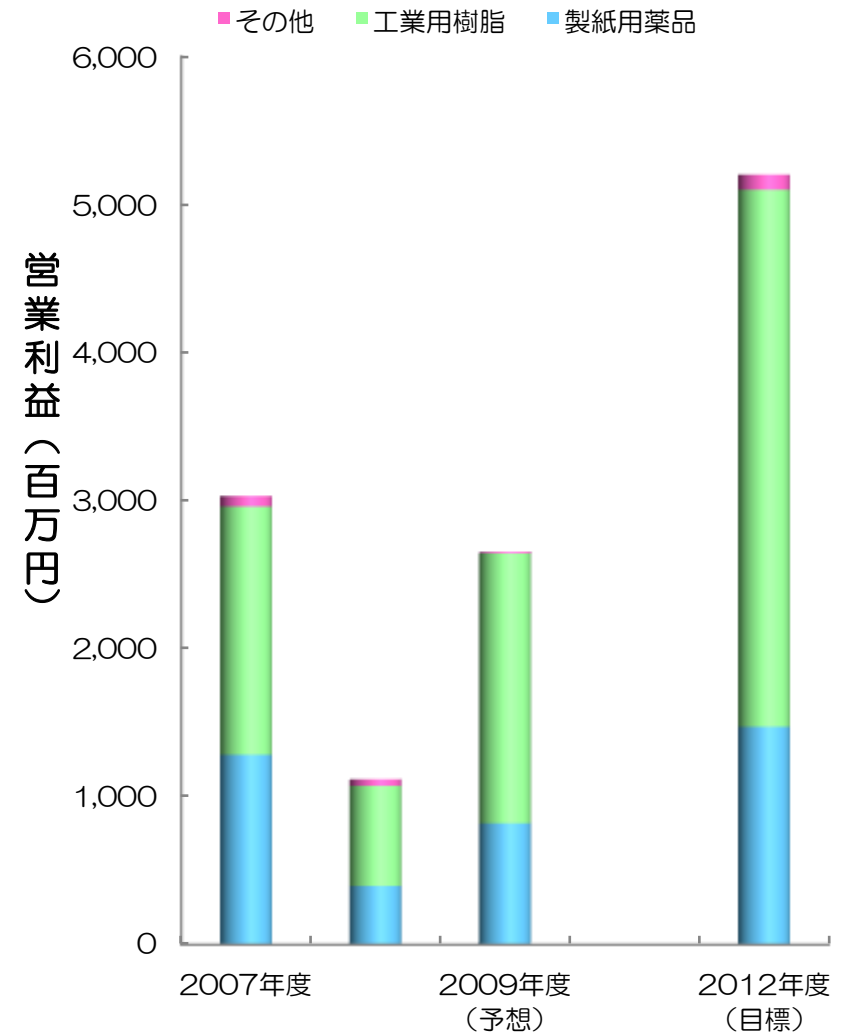
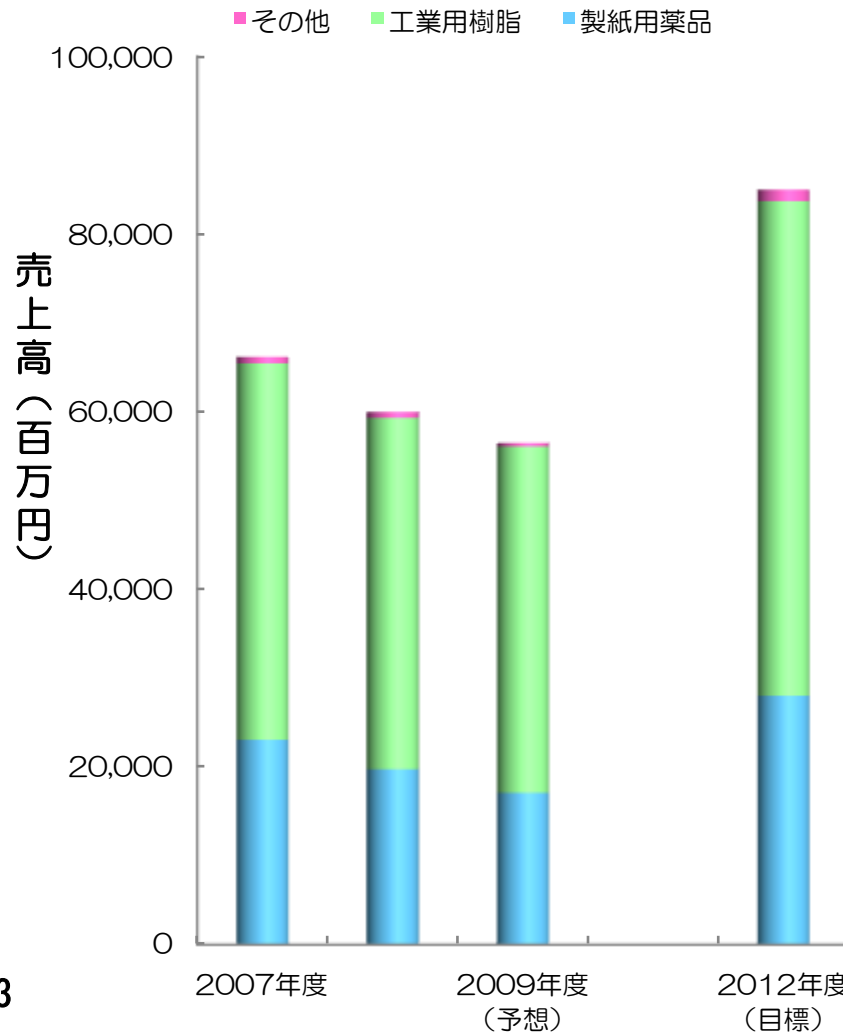
「PINE DASH 1000」
～ 躍動、輝ける未来のために ～

- ・「**PINE**」: 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ
本業重視を継続する
Proactive Innovation for New Era
新しい時代へ、新機軸の先取り
- ・「**DASH**」: **D**ynamic **A**ction for **S**hining **H**istory
躍動、輝ける未来のために
- ・「**1000**」: 当社創業140周年となる2016年度には、
企業成長のひとつのベンチマークである
売上高1,000億円を超える姿でありたい

10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-1. セグメント別業績目標

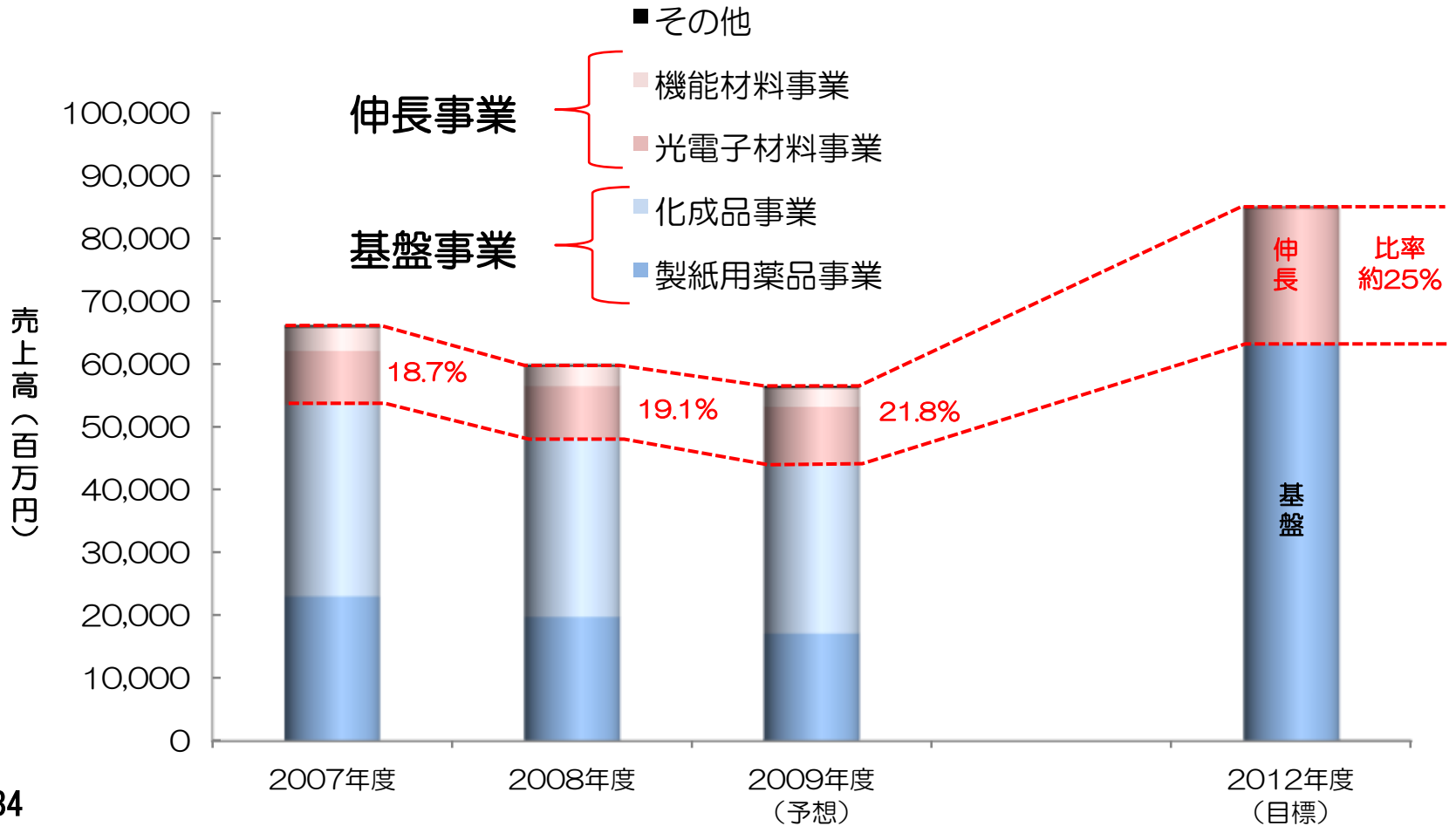
2012年度に売上高850億円、営業利益52億円を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-2. 基盤事業+伸長事業

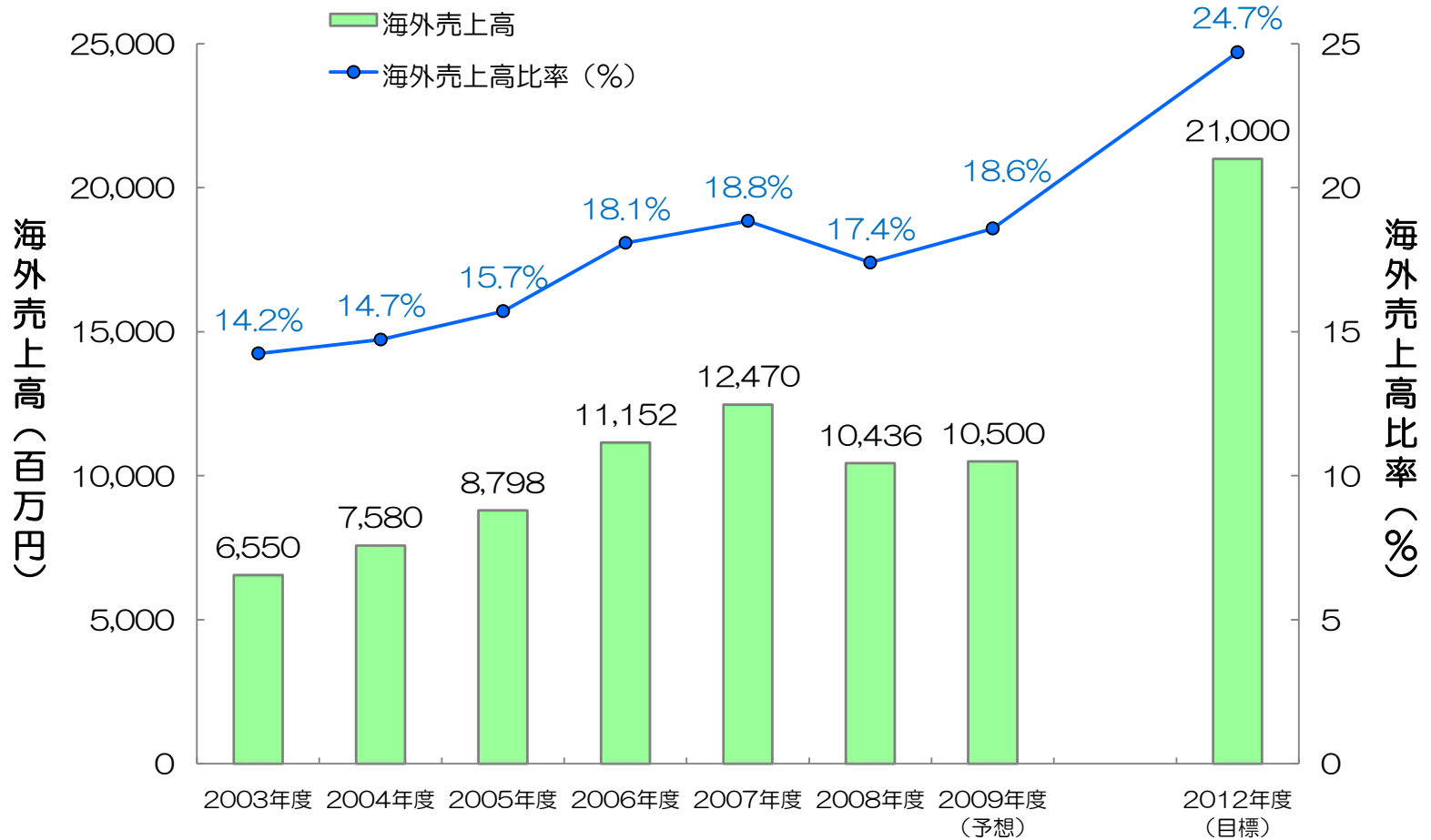
伸長事業の比率を向上、2012年度に約25%を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-3. 海外展開

基盤・伸長とも拡大、2012年度海外売上高200億円突破を目指す



10. 第2次中期5カ年経営計画の戦略

10-4. 新規事業・新技術の創生

荒川化学グループの次なる柱となるべき新規事業と新技術の創生

- ・ 開発マネジメントシステムの構築による、新規事業・新技術の的確な評価の実施
- ・ ロジン関連技術をはじめとするコア技術の選定・開発
- ・ 技術提携を含めた不足技術の確保
- ・ 知的財産戦略の構築・実施

10-5. 経営・事業基盤の整備と強化

荒川化学グループ最適の経営を目指し、全てのステークホルダーから信頼される企業として社会的責任を果たす

- ・ サプライチェーンマネジメント体制の構築
- ・ 品質・環境・保安全管理システムの構築
- ・ 当社グループに適した社会貢献の推進
- ・ コーポレートガバナンス体制の更新・改革による、企業価値の維持・向上

1 1. 基盤事業の新製品／製紙用薬品事業

1 1-1. アクリルアמיד系微粒子ポリマー（ポリテンション）

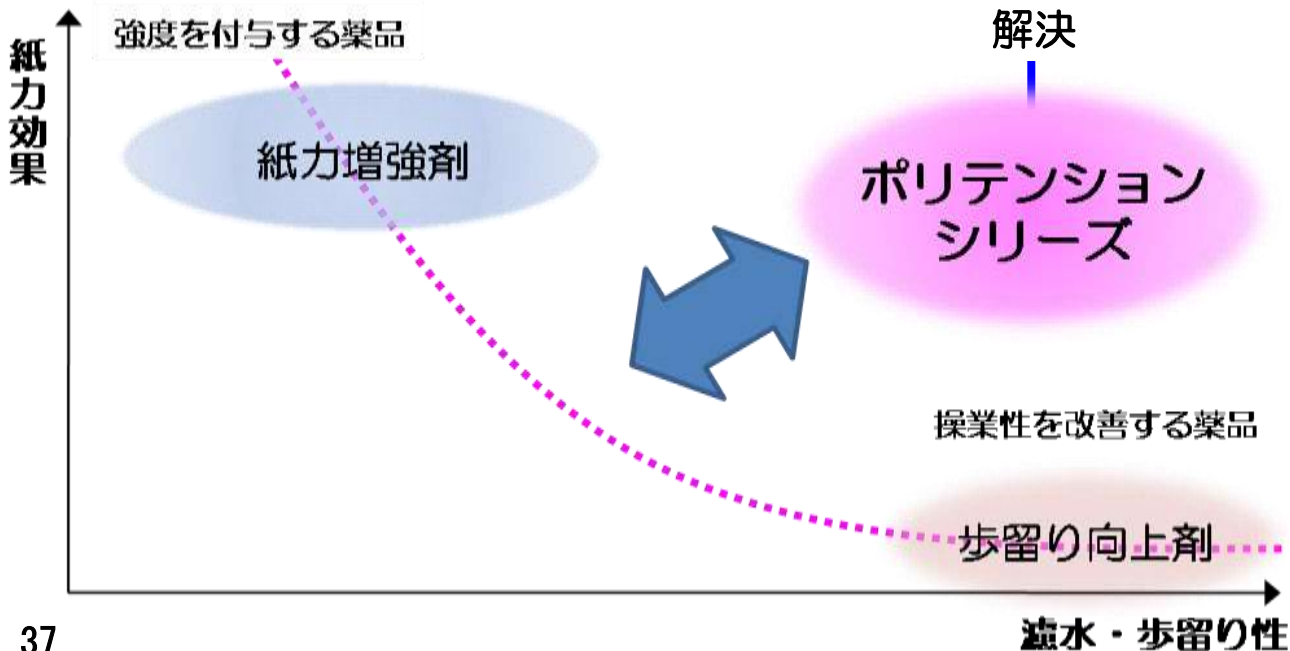
優れた紙力効果と高濾水・高歩留り性を両立する新規製紙用薬品

製紙業界動向

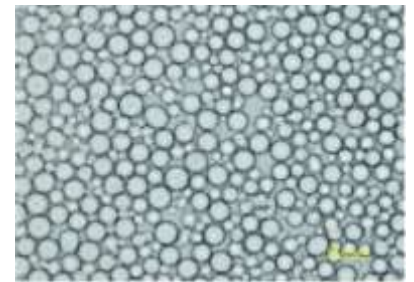
古紙率上昇・高クロード化
最新鋭大型・高速マシン導入

問題点

紙力低下
濾水・歩留りの低下



(拡大写真)
数十 μ mの粒子状ポリマー



1 1. 基盤事業の新製品／化成品事業

1 1-2. 帯電防止コーティング剤（UR-ASシリーズ）

低温・短時間硬化で優れた帯電防止性を付与する新規コーティング剤

◎樹脂の設計技術

◎導電性ポリマーの分散技術

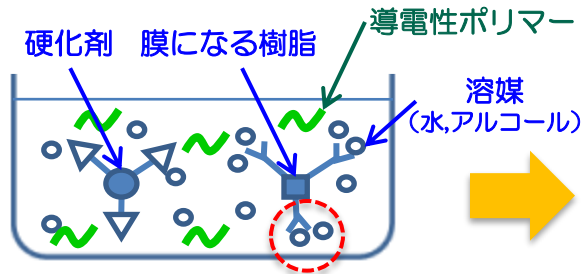
当社保有技術の応用

UR-ASシリーズの特徴

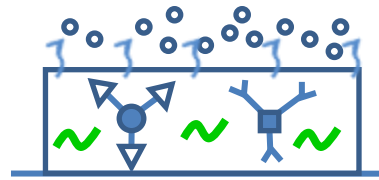
- ・低温、短時間で硬化が可能
- ・湿度に影響しない帯電防止性
- ・溶液での安定性が高い
- ・透明性が良好（低ヘイズ度）

[用途]
ディスプレイ

コーティング剤の固まる仕組み

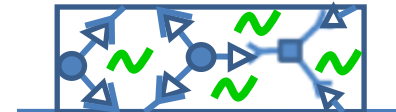


- ・溶媒との親和性が良好
- ・硬化剤との反応を阻害



- ・熱により溶媒が蒸発
- ・硬化剤との反応が瞬時に起こる

硬化時間を半減！



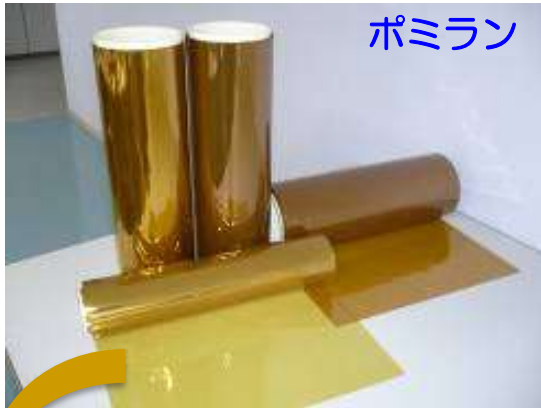
- ・硬化が早い
- ・導電成分が硬化反応を阻害しない
- ・導電成分が均一分散した状態で硬化

1 1. 伸長事業の新製品／光電子材料事業

1 1-3. シリカハイブリッドポリイミドフィルム（ポミラン）

有機・無機材料の特長を併せ持つ優れた回路基板用ポリイミドフィルム

シリカハイブリッドポリイミドフィルム

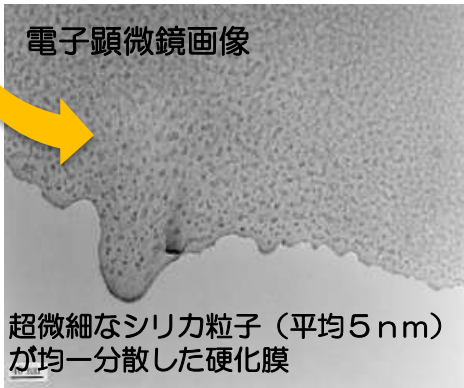


ポミラン

ポミランの特徴

- ①当社保有のハイブリッド化技術による素材開発
難燃性、耐熱性、絶縁性、寸法安定性、
耐イオンレゾノ、金属密着性に優れる素材
- ②フィルム化技術の確立（タイマイド・テック社と共同開発）
上記素材を使用した表面平滑性、透明性に優れるフィルム

（拡大写真）



電子顕微鏡画像

超微細なシリカ粒子（平均5 nm）
が均一分散した硬化膜

ポミランの機能化

ウエットめっきが可能なポミランの工業化技術を確立！

回路基板業界に「ポミラン」を使用した連続ウエットめっきプロセスによる回路基板の作製を提案

- *ウエットめっきプロセスを開発
（奥野製薬工業（株）と共同開発）
- *ウエットめっき装置を開発
（進和工業（株）と共同開発）



ウエットめっき装置
（試作機）

1 1. 伸長事業の新製品／機能材料事業

1 1-4. 環境配慮型洗浄剤（パインアルファST-400）

パインアルファに優れた油水分離性を付与した新規洗浄剤



注：写真は、実際の包装形態とは異なります。

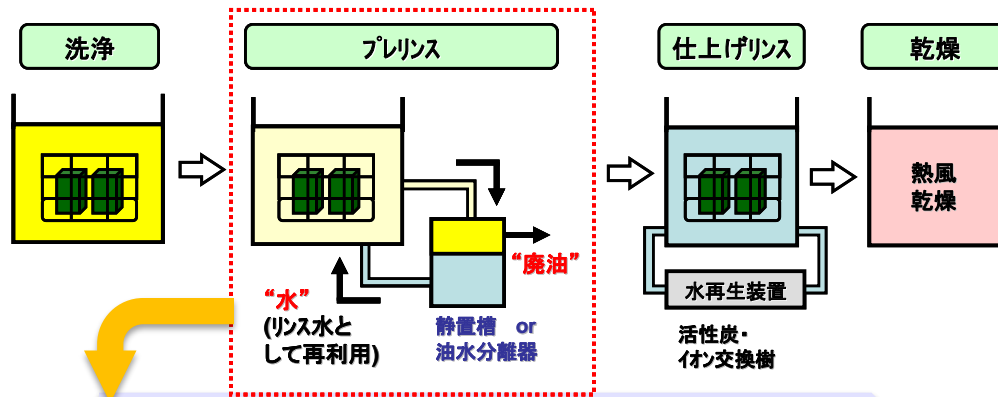
フラックス洗浄業界動向

RoHS指令によるはんだの鉛フリー化
環境に配慮した洗浄廃液の削減等の取組み

問題点

鉛フリーはんだ特有の難溶性物質が増加
リンス廃液の削減が困難

《油水分離機能を用いた洗浄システム》



油成分を分離した後のリンス水外観

No. 40



←パインアルファ
ST-400使用時



←市販品使用時

解決

パインアルファST-400

＊ ＊優れた洗浄性＊ ＊
鉛フリーはんだ特有の難溶性物質に対応
シャワー洗浄にも対応

＊ ＊環境性能を重視した製品設計＊ ＊
Pbフリー
消防法の危険物に非該当

＊ ＊優れた油水分離性＊ ＊
プレリンス水から油性成分を効率的に分離
⇒交換頻度と廃液量を大幅に低減

1 2. 環境配慮型製品の売上高推移（個別）

環境配慮型製品 売上高推移

